

| | | |
|-------|--|-----|
| 単元名 | 現代と社会「イースター島になぜ森がないのか」 | |
| 対象校種 | <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 | 国語科 |
| 教科の目標 | 筆者の意見とその根拠となる事実(歴史)を読み取り、自分の意見をまとめる。 | |
| 実践の様子 | <p>①SDGsカードを使って、SDGsの概略と目標について考える。</p>  <p>②本文とSDGsを関連づけて、どのターゲットを達成すれば、イースター島の悲劇を避けられたかを、班ごとに考える。</p>  <p>③電子黒板を使いながら、各班でまとめた内容を発表する。</p>  <p>④ワークシートで自分の考えをまとめて、ふり返しを行う。</p> | |

| | | | |
|-------|--|---|--|
| 単元名 | 和歌（『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』） | | |
| 対象校種 | <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 | 国語科（古典A） | |
| 教科の目標 | 古典としての古文と漢文，古典に関連する文章を読むことによって，我が国の伝統と文化に対する理解を深め，生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。 | | |
| 実践の様子 | ○国語便覧やタブレットを利用し、「貴族の生活」を知る。（上代～中古） ○上代～中古の生活と、現代の生活を比較し、SDGsの視点から古典の世界の生活の問題点や現代改善されている事柄を指摘する。（SDGsカードを使用する） | | |
| | 古代の生活の問題点 | SDGs | 現代生活との比較（改善されたこと・課題） |
| | ○「禁忌思想」によって女性が「穢れ」とされ、宮中を出て実家で出産しなければならなかった。 ○男性の成人（初冠）と女性の成人（裳着）の年齢が違う。 ○男性と女性の書く文字が違う。（漢詩文、女性は仮名文） ○病気になると、僧侶や祈祷師が「加持祈祷」し、病の治癒を願う。宗教上では男女の区別が大きい。 ○「物忌み」や「方違え」の習慣があり、仕事よりも優先される。 ○名前を名乗らず、地名や身分を名乗る。女性は父親や配偶者の名前を名乗ることがある。 ○宮中では、身分によって仕事が変わり、与えられる部屋も違う。 ○平安時代は、風呂やトイレが整っていない。香を焚いて臭いをごまかしている。 | ⑩・⑤   ⑩・⑤ ⑩・⑤・④  ③・⑩・⑤  ⑧  ⑤⑩  ⑩ ⑥  | ○現代は出産はおめでたいことで、「出産」には男性も立会える。 ○現代では男性も女性も成人の年齢は同じ。 ○現在は学問に性別は関係ない。「仮名文字の女性らしさ」・「しなやかさ」は文化として大事にしたい。 ○医療の発達した現代では、治療行為は医師が行うが、精神医療として加持祈祷の文化は残っている。 ○現代でも冠婚葬祭で休暇を取れるが、禁忌の方角が考慮されない。 ○現代はニックネームはあるが、名前の代わりに身分で名乗ることはない。 ○現代は身分によって仕事を制限されることはない。選ぶ権利がある。 ○雅やかに見える平安貴族も衛生環境は悪い。 |
| | 【生徒の感想】 ○古代の生活には、身分の差や男女の差が多くあることが分かった。 ○女性には権利があまりないことに驚いた。 ○不自由で偏りのある生活だったが、日本の文化として知っておくのは大事だと思った。 ○現代の生活では、学校に行って、学ぶことは当たり前だと思っていたが、古代は、女子は学ぶ権利がないことに驚いた。 | | |

| | | |
|-------|---|--------------|
| 単元名 | 「読み書き」は人の生き方をどう変えたのか？ | |
| 対象校種 | <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 | 地理歴史科（世界史 A） |
| 教科の目標 | 日本の識字率が世界的に見ても高くなっている理由について、歴史的背景を踏まえて考察する。 | |
| 実践の様子 | <p>① 各グループに分かれ、SDGs の 17 の国際目標のうち、現時点で日本の達成度が高いものを 3 つ選択し、その理由を考える。</p>  <p>② 各グループが選んだ 3 つの目標と選んだ理由を全体で共有する。</p>  <p>③ SDGs の 17 の国際目標のうち、達成に近い、達成されたものを確認した上で、特に「4 質の高い教育をみんなに」が達成されている要因について整理する。</p> <p>④ 「読み書き」できるようにするための教育は日本ではいつから行われているのかを理解する。</p> <p>〈実践の成果〉</p> <p>本実践では、SDGs カードを用いた学習活動を導入に位置づけ、生徒たちに日本の達成状況を考えさせるとともに、「4 質の高い教育をみんなに」の達成状況と日本における「読み書き」の歴史が深く結びついていることに気付かせる足場かけを行った。</p> <p>現代の諸課題と結び付けて、過去へと視点を向けていくような学習過程を意識したことで、「読み書き」の歴史をより現代的な視点から考察することができたと考える。</p> <p>何より、グループに分かれてからの生徒たちの言語活動が充実し、普段よりも積極的に話し合いに参加しようとする生徒の姿が見られた。</p> <p>本実践では導入としての位置づけであったが、現代社会などその他の科目においては、別の活用方法もあると思うので、今後の実践でも SDGs カードを積極的に活用していきたい。</p> | |

| | | |
|-------|---|--|
| 単元名 | 「第5章 地球の環境」防災 | |
| 対象校種 | <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 | 理科（地学基礎） |
| 教科の目標 | 地球の環境は、さまざまな要因によって変動することを知る（気付き・知識）。現在の地球が抱える環境問題について班ごとに発表。定期考査で自分たちができることを考えさせる問題を出題した（行動）。 | |
| 実践の様子 | <p>（1）身の回りで起こる自然現象の変化について気付く。</p> <p>1. <SDGs の理解> 教員が提示した災害の例について、SDGs のどれが関係するか考えさせた。SDGs カードを各班に配る。</p> <div data-bbox="805 676 1150 967" data-label="Image"> </div> <p>2. 生徒は各班で、現在私たちが抱える災害と防災に関する「ゴールカード」を選ぶ。その災害がどのようなものか説明させる。何が問題になっているのか考えさせる。</p> <p>3. そのようなことにならないように、私たち人間はどうすればよいか考えさせる。防災対策を挙げさせる。</p> <p>4. 各班で「スライド」の作成 『災害と防災について調べ、自分たちに出来ることを考えよう』 ①各チームの調べた内容を発表する。 ②各チームの防災について、質問や意見を伝え合う。 ③話し合いをして、提案をよりよいものにする。 ④まとめ。</p> <p>（2）振り返り 話し合ったことを、全体でシェア（スライドの共有） <まとめ> 「気付き」×「知識」×「行動」＝「成果」 ※行動が伴わないと成果はゼロだということを確認。</p> | <p>SDGs の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例文を示す（スライド） ・SDGs との関連 <p>（例）土砂災害危険箇所マップ 「住み続けられるまち作り II」 災害用語を調べる 土砂災害とは？ 治山ダム・防砂ダムの役割り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害にはさまざまなものがあり、万全な対策が大切 ・危険箇所マップの確認 |

| | | |
|-------|---|------------------------|
| 単元名 | Lesson 2 Are you really sloth? | |
| 対象校種 | <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 | 外国語科 (コミュニケーション英語Ⅱ) |
| 教科の目標 | 動植物の生態を知り、生命を尊び、自然を大切にし、環境保全に寄与する態度を養う。 | |
| 実践の様子 | <p>greetings</p> <p>① SDGsとは何か?(再確認する) いつまでにゴールしなければならないか? 多くの生徒は理解している。2030年に間に合うのかの声。</p> <p>② 「生徒間の意識調査」 Q.「あなたが17の目標の中で最も大事だと思うものに、フセンをつけてください。」 16が多い。貧困問題が最重要であることを知る。感心の声多い。</p> <p>③ 事例から学ぶ(現状を知る)映像資料より</p> <p>1) 21世紀までに絶滅したとされる動物は</p> <p>2) ナマケモノが住むアマゾンの様子と問題点(森林の減少・人為的な行動によって) 貧困問題と結びつけられればよかったのですが・・・</p> <p>④ グループディスカッション</p> <p>1) なぜ動物は絶滅したのか。 2) 絶滅を防ぐためにはどうしたらよいか。 3) 関連する番号を記してみよう。(カードを使って、考えてみる) 4) 各グループともワークシートにまとめる。</p> <p>⑤ 意見の交換 1分間ずつ、各グループ(9グループ)の代表者が他のグループにプレゼンをする。 人をかえながら、列ごとに発表しました。計3回。</p> <p>⑥ まとめ SDGsカードを使いながら、しっかりとグループの意見をまとめることができていた。</p> <p><反省> <input type="checkbox"/>計画書とは異なった展開となってしまった。 カードの使う方がよくわからず、効果的な使い方にならなかった。 自然環境のみならず、それぞれの項目が関連あることにも触れたかったが十分ではなかった。また、生徒の身近な問題への落とし込みが大事であると思った。</p> | |
| |      | |

| | | |
|-------|--|------------|
| 単元名 | 自分の未来と SDGs (討議型) | |
| 対象校種 | <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 | HR (道徳プラス) |
| 教科の目標 | 討議活動を通して、課題についてお互いが納得のできる解決策を目指す。自分の考えを相手に伝え、相手の意見も尊重しながらよりよい解決策を生み出していく力を育てる。 | |
| 実践の様子 | <p>① SDGs に対する印象を「Mentimeter」を用いて集約・共有し、「非日常感」を演出する。</p> <p>② SDGs の概要を確認し、興味を持った目標について、達成のための方策や課題、考えたことなどをワークシートに各自記入する。</p> <p>③ 興味を持った目標を基にグループ分けを行い、ワークシートの内容を共有する。他者の意見を聞いて新たに気付いたことや感じたことを整理する。</p> <p>④ 「SDGs カード」を用いて、それぞれの目標の優先度や達成の可能性について討議し、グループで重要であると考える目標を五つ選出する。</p> <p>⑤ 選出した五つの目標とその理由を整理し、「Google Classroom」を用いて全体共有を行う。その後、現在の日本の達成状況にも触れる。</p> | |



| | | |
|-------|--|---------|
| 単元名 | 産業社会の進展と私たちの生活 | |
| 対象校種 | <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 | 産業社会と人間 |
| 教科の目標 | 産業社会の現状と移り変わりを郷土と関連付けながら学習し、自分に生かせる職業について考える。 | |
| 実践の様子 | <p>2 茨城と世界</p> <p>④ IBARAKI CHALLENGE BOOK を用いて、それぞれの目標と SDGs の結びつきを考える。</p> | |
| | <p>I 個人で考えた内容を、グループで共有し、SDGs カードに記入する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>一人ひとりの意見を発表し、それぞれの意見の妥当性を話し合った。IBARAKI CHALLENGE BOOK の表現は本校の生徒にとっては難しいこともあったが、『私たちが目指す世界』を活用したことで話し合い活動が活発に行われた。カードに書き込むことで、カードを並べて、グループ間の比較を行うことができた。共通点や相違点をさがす学習を通して、考え方の違いや新しい視点を得ることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: center;">  </div> <p>II 茨城県の課題について、考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: center;">  </div> <p>I の学習で最も多くの茨城県の目標と結びついた SDGs を中心に据えて、茨城県が抱える課題 1～3 位をグループで話し合う活動を行った。大判の SDGs カードを使って、発表を行い、意見の共有を行った。</p> <p>今回の学習以前は、SDGs について「主に発展途上国で達成すべき目標である」「環境問題に関する目標である」という認識を持つ生徒が多かった。この学習を通して、SDGs は現代日本でも取り組むべき目標であり、身近な社会の課題とも結びつく目標であることを理解することができた。</p> | |